

《ジャッジになるにはどうしたら良い?》

ジャッジになるためには、まずはじめにAFAに申請をして、ジャッジ訓練生としての許可を得る必要があります。

ジャッジ訓練生の第一条件は、ボランティア(終日運営サイドに従じたボランティア)に積極的に参加していること。かつ、スチュワードボランティア歴が数回必須になります。

上記に加え、AFAへの入会(年間4000円ほど)、AFAへの個人情報の申請、ショーの参加歴(3年程)、ショー入賞歴、ボランティア歴(3年程)などが、申請の際に必要です。

また、3名以上のジャッジの推薦が必要です。

申請の後、まずはスペシャリティー(カラー)のジャッジトレーニングを始め、スペシャリティージャッジ認定試験に合格後、スペシャリティージャッジデビューとなります。

ジャッジテストに合格するまでには最低でも1年はかかります。

さらにやる気のある方は、スペシャリティージャッジを数年(2~3年以上)経験した後に、3名以上のジャッジの推薦とAFAの許可がおりれば、チャンピオンクラスのジャッジ訓練生になることができます。

チャンピオンクラスも、スペシャリテークラス同様、ジャッジトレーニングの後、ジャッジ認定試験に合格すると、チャンピオンクラスジャッジのデビューとなります。

以上がジャッジになるまでの流れになります。

ジャッジトレーニングの詳細内容は、ジャッジ訓練生になる際にお話させていただきます。

ジャッジになった後も、ジャッジトレーニングは定期的に行っていますので、参加していただくことになります。

ジャッジトレーニングは、基本的には、本業の合間やお休みを利用して、週末に行っています。

AFAの冊子には、ジャッジになるためには、人として常識あるふるまいができ、常に謙虚な気持ちを持ち、犠牲的精神がないと受け入れられない、ジャッジの更新のために年数回のトレーニングが必要とも記載されています。

ショーの後には、ジャッジ反省会を行いますので、こちらには必ず参加してください。

また、ジャッジにふさわしくない行動をした場合、トレーニングを怠った場合、ジャッジ資格の剥奪もありえます。

AFAでは、自分から辞めた人もいますが、8割は剥奪だそうです。

実際にトレーニングをする場所は、今現在は基本的には名古屋になります。

基本的なレクチャーを終了後は、インターネット上でのレクチャーも可能です。遠方の方におかれましては、可能な限りオンラインを使ってのトレーニングを優先しますが、実際フェレットを触ってのトレーニングは必要になります。

今後、関東や関西でのジャッジ訓練生やジャッジが増えれば、基本的には東京都内になりますが、対応できるように調整したいと考えております。

ジャッジの推薦基準にスチュワード歴の申告が義務付けられています。スチュワードは、クラスによって拘束時間が長いボランティアになりますが、ご自分のフェレットをエントリーしている時間と重ならないようにスケジュールを組んだり、万が一審査や表彰がボランティアと重なってしまった場合は、一時的な退席も可能です。

出来る限り配慮させていただきますので、ジャッジにご興味がある方は、スチュワードボランティアへの申込をよろしくお願いいたします。